

疫学研究の実施についてのお知らせ

京都大学がんセンターでは病気の診断や治療の向上を目指して、実際に治療を受けられた方の臨床情報を元に種々の研究を行っています。以下にその概要を記しますのでご理解の程お願い致します。

平成 28 年 1 月 27 日

研究計画名

がん患者におけるがん化学療法と腎障害に関するバイオインフォマティクス手法を用いた疫学研究

研究の意義・目的

当院におけるがん化学療法の治療成績を調査し、主にごん化学療法と急性腎障害との関連性に関して研究を行い今後のがん診療の参考資料とします。

研究の方法

2004 年 1 月～2014 年 12 月までの間に当院のデータベース、電子カルテに登録された症例を連続して抽出し、その治療成績を調査し、急性腎障害前後の介入や有害事象と夜ごとの相関解析を行うことで、予後良好あるいは予後不良に関連する因子の検討を行います。

個人情報の保護について

個人情報（個人が特定できるような氏名・生年月日などの情報）は文部科学省・厚生労働省の指針に従い厳重に管理いたします。

本研究のために調査する資料はカルテ番号（ID 番号）に別の登録番号を付与し、どの人の資料かが直ぐにはわからないようにして（連結可能匿名化）作成することにより、個人情報とプライバシーの保護に努めます。本研究で扱われている個人情報に関しては開示を求めることができ、また窓口までお問い合わせ頂ければ、研究の実施に支障の無い範囲で計画書等をご覧頂くことも可能です。当該研究の実施に係る記録（文書及び電子記録）を試験終了後、論文化から 10 年以上保存します。本研究対象となる患者さんで、上記の情報を本研究から除外するようご希望される患者さんは、下記連絡窓口までご連絡ください。研究辞退のお申し出をされても、診療上の不利益を被ることはありません。

その他

本研究はすでに当院で治療を受け、当院の電子カルテやデータベースに記録保存されているデータを用いて行います。本研究の対象となった場合も謝礼のお支払いはありません。

本研究に関する問い合わせ窓口

京都大学医学部附属病院 腎臓内科 (電話 075-753-7531) 松原 雄

研究責任者 柳田 素子

病院の相談窓口

総務課 研究推進掛 075-751-4899 trans@kuhp.kyoto-u.ac.jp